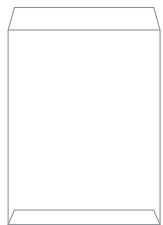




83期 活動報告書

株式会社 羽車 CSR Report 2018



代表あいさつ

日頃より大変お世話になっております。83期の活動報告書が完成しましたのでお届けいたします。この活動報告書は日頃お世話になっている皆様へ、より羽車を知っていただくために毎年一回発行させていただいております。

事業としましては新商品をいくつか発売しました。まず紙素材として、今までにない質感のHAGURUMA Basicプレーンホワイトを抄造し発売しました。リーズナブルでいて風合いがある、印刷色も映える紙素材です。また何年も研究してきたリップルカット封筒も完成しお客様にご案内中です。これは封入の際、紙の端で手を傷つけないための工夫がされた封筒です。またFSCの森林認証も取得し環境対応も進めております。

地域に向けた活動では、紙を楽しむイベント「かるた市」を今年も開催しました。ゴールデンウィーク中の開催でしたが例年通り多くの人でにぎわい、工場見学や子ども向けワークショップを体験していただきました。また堺市が主催する「堺市NPO協働大賞」の審査員を仰せつかり一年間勤めました。他団体と協働して堺市の魅力を発信するNPOに応募いただき、入賞した団体は堺市でも支援をしていく取り組みです。

9月に予定していた社員向け海外研修は、台風による空港閉鎖のため延期となり、期をまたいで11月に83期海外研修として行いました。また希望する社員の資格取得について支援を始めました。83期は、品質管理の基本であるQC検定、印刷部門中心に色彩検定を受験し、のべ16名が合格しました。今年も社員が成長する機会を提供していきます。一昨年より始めた品質と生産性を高めるための小集団活動「グループワーク」は、製造部に加え営業部も一緒になって取り組みました。取り組みについては全社員で評価し表彰式も行ないました。これにより役職者だけでなく新入社員からも活発な改善案がでるようになりました。

その他の活動では、大阪梅田にある無印良品の一角「Open MUJI」にて100年企業羽車を紹介させていただきました。また東京でもイベント「HAGURUMA NIGHT」を開催し、こちらでも会社のことをより知っていただくことができました。

羽車は創業100周年を迎えました。今までご愛顧いただいた取引先に感謝し、企業の社会的責任をきっちりと果たし、世の中に必要とされる会社を目指す所存です。今後とも引き続きご指導のほどよろしくご厚意申し上げます。

この報告書は、私たちの事業活動とは切り離せない「環境・地域・取引先・社員」そして「社会」とのつながりや取り組みを紹介したものです。是非ご一読いただき、私たちの仕事へのご理解と忌憚のないご意見を賜りましたら幸いです。

代表取締役社長
杉浦 正樹



会社概要

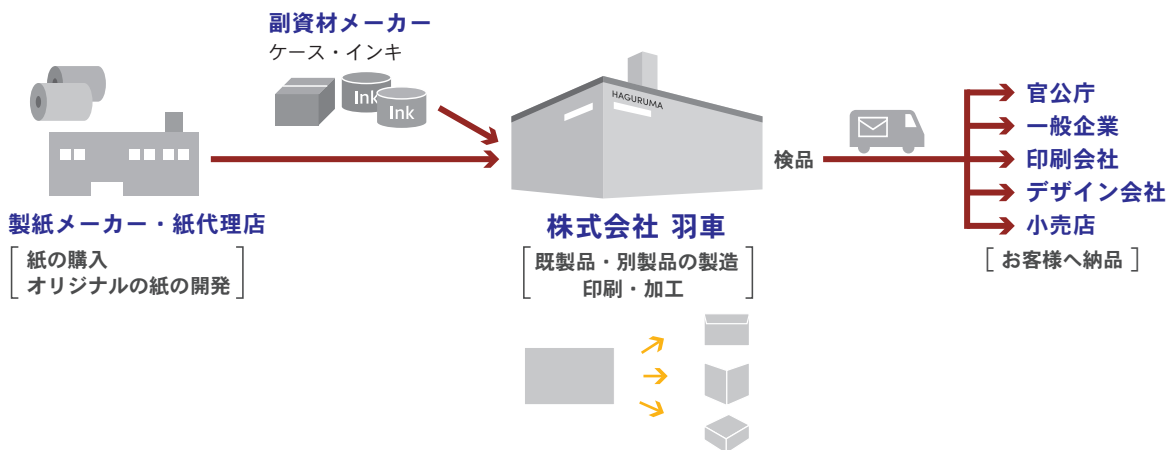
| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社 羽車 |
| 創業 | 1918年10月 |
| 設立 | 1936年1月 |
| 代表者 | 杉浦正樹 |
| 社員数 | 140名 |
| 資本金 | 5200万円 売上19億円 |
| 事業内容 | 封筒・紙製品の企画・製造・販売 インターネットによる通信販売 |
| 事業所 | 本社 大阪府堺市東区八下町3-50 東京オフィス・ショールーム 東京都渋谷区神宮前4-4-5 札幌出張所 札幌市中央区北4条西21-2-3-401 |
| 関連会社 | 株式会社 ウイングド・ウィール 株式会社 カルタビアンカ |



事業活動

仕事の流れ

羽車では、1,000種類以上の封筒・カードの既製品、お客様のご要望に応じた別製品（オーダーメイド）の製造販売を行っています。



保有設備

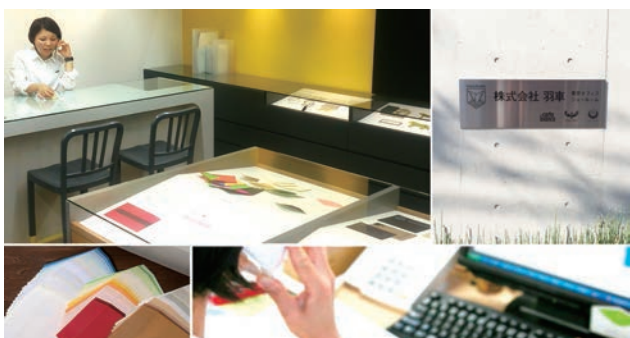
- 断裁機 4台
- 抜き加工機 8台
- 輪転製袋機 8台
- 平判製袋機 6台
- 洋形製袋機 4台
- 印刷機 38台
- セロ窓加工機・口糊加工機・製本機・製函機など 32台



営業拠点

東京（表参道）には、ショールームを開設しています。商品を直接手に取り確認しながら、相談や注文ができるスペースとしてご活用いただいています。

大阪・東京・札幌の各営業拠点では外勤営業とは別にカスタマーセンターを設けており、お急ぎのお見積りやお問い合わせについても迅速に対応できる体制をとっています。全国への出張営業の他、インターネットでの通信販売も行っております。



経営理念

【私たちの起点となる考え】

「良いデザインを共につくる」

お客様にとって良いものを、一緒に考え、かたちにする。

【私たちが存在する意義】

お客様にとって
デザイン性が高い印刷物を
相談できるNo.1企業

社員に対し
やりがい・成長・安心感を
与えられる会社

社会に対し
常に新しいカルチャーを
発信できる企業

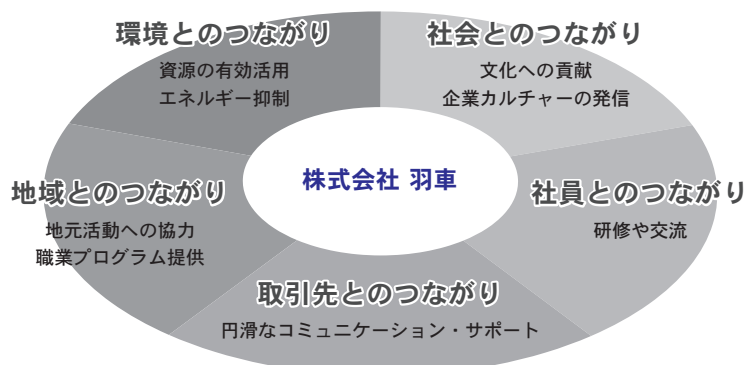
【私たちが目指す人物像】

- 誰からも声をかけられやすく、いつも心が笑顔の人
- 目標を達成するために最大限の努力をしている人
- 常に謙虚であり、言葉づかいや振る舞いに品がある人
- 人を喜ばせたり感動させたりすることが好きな人
- 新しいことに挑戦し、自分やチームを変えていける人
- 日々の仕事に楽しさや、やりがいを見いだせる人
- 周りの人の仕事を助け、チームワークの大切さを示せる人
- アートとユーモアを愛する人
- 自身の健康と環境問題に日頃から取り組んでいる人
- 自分の考えを持ち、率先して発言できる人

✉ CSRに対する考え

企業である以上利益の追求は当然ですが、それだけで事業が永続することはできません。事業の成功とともに社会に対しどのような貢献をしたかが問われています。私たちはCSR＝「企業の社会的責任」を次のように考えています。

まずはじめに大切なことは、事業活動における様々な業務や改革を法令順守と透明性をもって行うこと、そして社会的な責任として、環境・社会・地域・取引先・社員、それぞれとの関係性をより良く改善し貢献していくことです。会社の方針はこれらの社会性を持続的に保つためにあると考えます。



品質・環境方針

☐ 方針

当社は、“個性豊かなコミュニケーション”を演出する産業として、個性豊かな「色」と「かたち」で思いを届ける独自性の発想と視点から、常にお客様にご満足いただける製品づくりを目指して日々努力し、品質保証体制の継続的改善を実施します。また、地球環境を守るため紙製品製造販売における環境負荷を継続的に削減し、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを全社員が自主的、積極的に取り組みます。その行動指針を以下のように定め、実行します。

1. 現在及び将来の事業活動において適用される法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 顧客要求事項、及び法的・規制要求事項を満たす製品を提供します。
3. 環境負荷を低減するため、下記の方針のもとに積極的に活動を推進します。
 - (1) 事業活動における省エネルギー、省資源活動等によるCO₂排出量及び廃棄物の削減・リサイクル・グリーン調達を推進します。
 - (2) 整理・整頓・清掃・清潔・躰 (5S) により業務効率を高めます。
 - (3) 仕込み率の見直しで資源の有効利用に努めます。
 - (4) 梱包方法の見直しで梱包資材の節約に努めます。
 - (5) 化学物質の適正な管理に努めます。
4. 環境に貢献する製品普及の推進を行います。環境に配慮した諸資材（再生紙・非木材紙・再生窓用フィルム・植物油インキ等）を使用した製品開発を積極的に行います。
5. 品質・環境方針達成のため、品質・環境目標を各部門に展開し、その実施状況を見直し、有効性の継続的な改善を図る品質・環境マネジメントシステムを確立、維持し、定期的に見直しをします。
6. 品質・環境方針は全従業員に周知し、一般に公開します。

☐ マネジメント体制

紙製品メーカーとしてISO9001を取得し、品質向上を常に目指し改善活動を行っています。環境に対してはエコアクション21の環境経営システムに従って環境への負荷低減に寄与しています。また資材に関してはFSC[®] CoC認証を取得いたしました。各部門の上にISO・エコアクションの事務局をおき、品質・環境への取り組みを行うと同時に、定期的なマネジメントレビューを行っています。事務局ではそれぞれの品質・環境目標が適当であるかを定期的に判断し、内部監査等のスケジュール管理を行っています。

☐ FSC[®] CoC 認証 (2018年9月27日取得)

FSC[®] (Forest Stewardship Council[®]: 森林管理協議会) は適正に管理された森林から産出された材料を使い、製品となって消費者の手に渡るまでの工程が適切に管理されていることを認証する制度です。認証マークは「責任ある森林管理」ができている企業の証です。

羽車では、原紙の仕入れから印刷、加工、納品に至るまでのすべての工程を管理するマネジメントシステムを構築して、「FSC[®] CoC認証」を取得いたしました。貴重な森林資源の保護、地球環境負荷の低減に積極的に取り組み、認証マークを入れた安全で安心な環境対応製品をお届けします。

※CoC認証 とは Chain of Custody = 『管理』をつなぐ、つまりFSC製品の木材が確実に使用されていることを実証することが目的です。



ISO 9001

お客様に感動を与える製品及びサービスの提供を実現し、かつ安全・安心をお届けすることがますます重要になっています。羽車ではこれまで、ISO9001の考え方に基づいた品質保証システムを構築してきましたが、改めて『お客様視点に立ったものづくりの仕組み』を強化し、品質保証活動をより積極的に取り組むため徹底した品質管理を行っています。これからも品質・環境方針に掲げた『常にお客様にご満足いただける製品づくりを目指して日々努力し、品質保証体制の継続的改善を実施します』という目標を実行し、より一層の研鑽を積んでまいります。



エコアクション21

エコアクション21とは、環境省が策定したガイドラインに基づいた、事業者のための認証・登録制度です。羽車では2005年4月にエコアクション21を取得し、環境経営への具体的な取り組みとして、環境マネジメントシステムを構築し環境活動に取り組んでいます。品質・環境方針に掲げた『地球環境を守るため紙製品製造販売における環境負荷を継続的に削減し、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを全社員が自主的、積極的に取り組みます』という目標を実行し環境活動を展開しています。



品質・環境事務局

83期11月よりFSC事務局を発足し、9月27日付けでFSC(森林管理協議会)による森林認証制度の生産・加工・流通工程の管理認証(CoC認証)を取得いたしました。これにより環境配慮製品の供給が可能になりました。FSC認証取得の取り組みを進めるうえで、森林の環境保全について理解が深まりましたが、日本は世界の中でも1人当たりの紙の使用量が多く、原材料は輸入に頼っています。その輸入元の国では、森林破壊により、トラ、ゾウ、オランウータンなど、絶滅の危機にある野生生物のすみかが奪われたり、伝統的に森に住み、水や食料などを得てきた先住民族や、森の周辺に住む人々の暮らしを脅かしている事実もあります。私たちも、FSC認証で管理された森林の木材を使用することが、持続可能な社会への貢献につながると考えています。



品質・環境管理責任者
久山 正晃(くやま まさあき)

ISO9001/エコアクション21

83期4月に環境マネジメントシステムのエコアクション21の中間審査を受け、ガイドライン2009年度版との照合審査をした結果、要求事項に沿った構築と運用の実施と評価をいただき「ガイドラインに適合」と総合評価を受けました。

7月には品質マネジメントシステムであるISO9001のサーベイランス審査を、2015年度版移行後初めて受け、効果的に運用され要求事項を満たしている判定で認証維持を受けました。

品質・環境事務局では、エコアクション21新ガイドライン(2017年度版)の公表に伴い、84期より新ガイドラインの対応に向け、改訂内容の理解と準備に取り組みます。また、ISO、FSCに続き、エコアクション21についても電子化を進め、ペーパーレスと事務処理関係の効率化を行います。

✉ 持続可能な取り組み

リサイクルケース

封筒を入れるケースは、当社で回収した余り紙を一部利用したリサイクル素材からできています。



人にやさしい「リップルカット」の封筒

「リップルカット」とは、紙の端をゆるやかな波形にした加工です。封入・封緘作業時の手指の安全性を高める設計です。一部の商品に採用しています。



古紙率の高いオリジナル紙素材

環境に配慮した新しい紙素材を開発しました。事務用封筒にも最適な「HAGURUMA Basic」ラインとしてプレインホワイト、ライナーグレイを新たに提案。FSC(森林認証)、グリーン購入法適合、無塩素漂白パルプを使用し、リーズナブルで風合いもよい紙素材です。従来商品のエコフレンドリーカラーに加え、環境配慮商品が充実しました。



労働安全方針

概要 社内事故・苦情・品質 対策と取り組み

私たちは、全ての社員が安全と健康を通じて豊かな人生を享受できることが企業の社会的責任であるとともに、労働災害や事故が最も大きな環境破壊であることを認識し、労働安全衛生活動を推進しています。

社内事故報告

83期は労働災害はありませんでした。82期より無災害450日を継続しております。私たちは引き続き、労働災害を起こさない、起こさせないように日々の安全確保を徹底いたします。

安全対策と取り組み

83期は、前期に行ったコントロールバンディング法(リスクアセスメント(※1)を簡易的に行うツール)の評価の精度を高めるため、2018年4月に厚労省が公開したクリエイト・シンプル法(※2)を用いて、改めて印刷業務のリスクの評価を行いました。その結果、気中濃度測定による作業環境の日常管理、原料をより有害性の低い物質に代替するなど、今後の取り組むべき課題が整理できました。

この印刷業務のリスクアセスメント結果は、労働安全衛生会議を通じて全社に周知を徹底します。また同時に、ラベル・SDSの普及教育の推進と化学物質のリスクアセスメントを社内に水平展開することにより、今後一層快適な職場環境を形成し「健康経営」の礎を築いていきます。

安全についての継続的な取り組みは、月一度の労働安全衛生会議、毎日の朝礼、安全作業の確認、申し送りなどを行い、現場で働く従業員が安心して働ける職場環境の構築を心掛けています。

(※1) リスクアセスメント：労働災害につながる原因を洗い出し、除去、低減するための手法

(※2) クリエイト・シンプル：幅広い職場に向けた簡単な化学物質リスクアセスメントツール

苦情

83期は苦情はありませんでした。引き続き工場内環境や周辺環境に対して法令順守を徹底いたします。

品質

品質向上の取り組みでは、さらなる向上を目指して83期もQC(品質管理)活動を行いました。3～8名の小集団活動「グループワーク」は、今期から営業部も加えた計21グループがそれぞれの目標達成に向けて月2回の活動を行いました。活動内容の報告会は、グループワーク事務局とリーダーが毎月開催。活動内容は年6回社内掲示板に貼り出し、代表の杉浦が総評や感想、アドバイスをフィードバックしました。問題を明確にし、改善、評価、修正した結果、優秀な活動に選ばれた5グループにオリジナルトートバックが贈られました。「グループワーク」では入社して日の浅い社員もリーダーとして意見を促しグループをまとめる経験をし、多くの学びの機会となっています。

印刷工程課では、安全確保と品質向上、業務の効率化を図る目的で「5S巡回」を行っています。83期は5Sの課題であった印刷機の清掃について取り組みました。以前は1台の機械を担当者1名で清掃していましたが、グループ分けを行い、3～5名で10分間徹底的に清掃するように変更しました。それにより短時間で細部まで綺麗にすることができ、製品の品質安定を維持することができました。

83期は品質に対する意識の向上、組織の品質レベルの向上、製品・サービスの品質向上を図ることを目的に、品質管理検定(QC検定)と色彩検定を受験し、それぞれ8名が合格しました。品質クレームは、82期に対して12%削減しました。84期は前年より10%削減を目標に取り組みます。



グループワーク優秀賞の表彰



印刷機のグループ清掃

環境方針実績・目標

環境に対する取り組み

当社では、地球環境を守るため紙製品販売における環境負荷を継続的に削減し、持続可能な循環型社会の実現に貢献することを全社員が自主的に、また積極的に取り組んでいます。

特に紙製品を扱うメーカーとして、原材料の調達には森林の保護に努めることが重要な責務であると認識しています。違法伐採の排除及び、適正に管理された森林からの木材利用など、協力会社との連携により製品の開発、販売を進めています。

また、CO₂排出量の削減に並ぶ重要なテーマとして資源の循環を掲げ『循環型ものづくり』を進めています。羽車の循環型ものづくりは『投資資源を最小化し、再生資源を最大化する』『生産活動から出る廃棄物の最終処理をゼロにする』という2つの取り組みを行っています。具体的には、製品を作る際に原紙が余って破棄されないよう、原紙の歩留まり率の管理を行い、投資資源の最小化に取り組んでいます。

それでも余ってしまった原紙は、原紙ごとに分別して有価物にかえたり、メモサイズにして商品を購入していただいたお客様に無償で提供しています。有価物にかわらない原紙は、ダンボールなどの原材料として再利用しています。

今後も余った原紙を新たな商品として再生させるプロジェクトを企画してまいります。

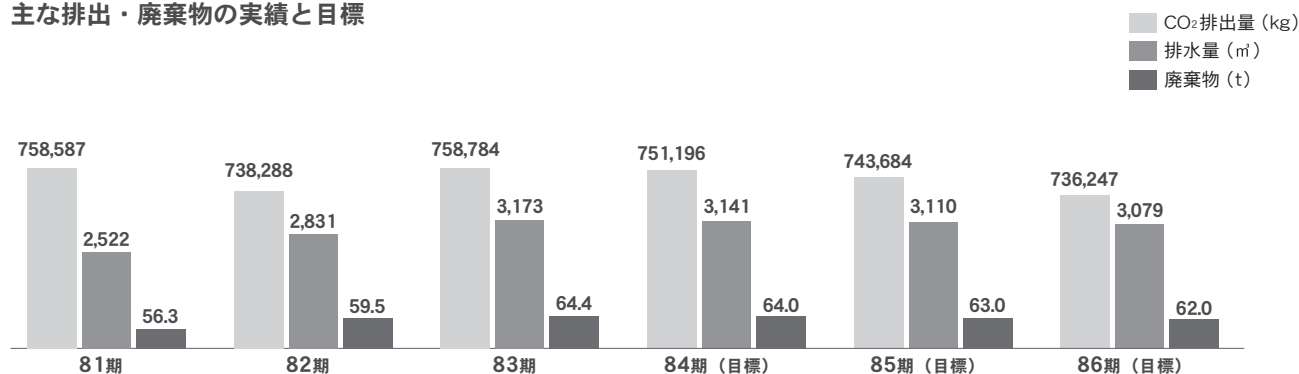
環境目標とその実績（3年間の推移と目標値）

| 項目 | 単位 | 81期 | 82期 | 83期 | | | 84期 | 85期 | 86期 | |
|---------------------|---------------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|
| | | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 達成率 | 目標 | 目標 | 目標 | |
| CO ₂ の削減 | 購入電力 | kwh | 1,170,882 | 1,168,009 | 1,156,329 | 1,186,723 | 97.4% | 1,174,856 | 1,163,107 | 1,151,476 |
| | 灯油 | ℓ | 200 | 311 | 308 | 142 | 216.8% | 140 | 139 | 138 |
| | 液化天然ガス(都市ガス) | m ³ | 50,768 | 44,087 | 43,646 | 46,904 | 93.1% | 46,435 | 45,971 | 45,511 |
| | ガソリン | ℓ | 4,396 | 3,926 | 3,888 | 5,462 | 71.2% | 5,408 | 5,353 | 5,300 |
| | CO ₂ 排出量 | kg | 758,587 | 738,288 | 730,906 | 758,784 | 96.3% | 751,196 | 743,684 | 736,247 |
| 廃棄物 | t | 56.3 | 59.5 | 58.9 | 64.4 | 91.5% | 64.0 | 63.0 | 62.0 | |
| 排水量 | m ³ | 2,522 | 2,831 | 2,802 | 3,173 | 88.3% | 3,141 | 3,110 | 3,079 | |
| コピー用紙 | kg | 8,368 | 8,035 | 7,954 | 7,978 | 99.7% | 7,899 | 7,820 | 7,742 | |
| 歩留まり率の向上 | % | 99.43% | 99.06% | 99.50% | 98.94% | 100.6% | 99.50% | 99.50% | 99.50% | |

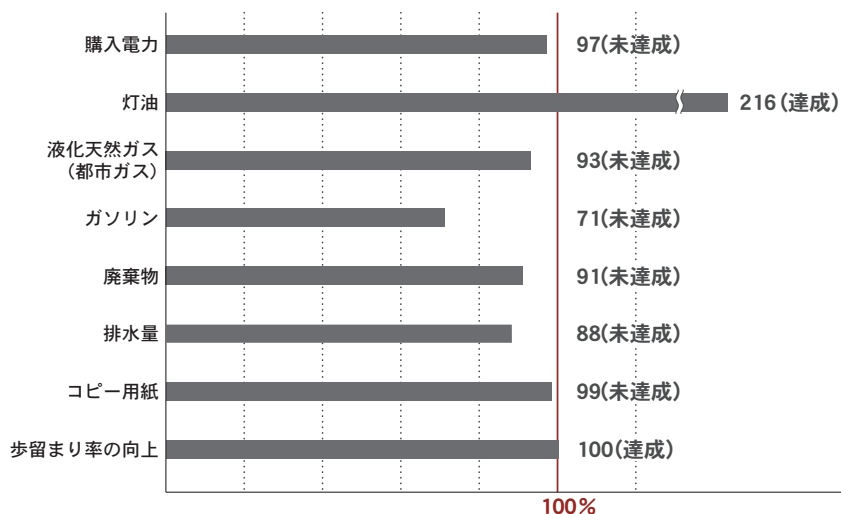
購入電力のCO₂の排出係数は0.522とする

歩留まり率の向上とは原紙をコンピューターの仕入れ指示より0.50%少なく仕込むことを目標にしています

主な排出・廃棄物の実績と目標



83期環境目標に対する実績値(%)



環境活動の取り組みについて83期の総括

前期(82期)は、生産設備を増やしましたが電力量は0.24%削減できました。83期は、目標に対し2.63%増加し、前年対比でも1.6%増えました。主な原因は、印刷版の内製化にともない、工程の周辺温度を一定内にコントロールするため、大型のエアコンを増設し、猛暑対策としてフル稼働させたことによります。また、都市ガスによる空調設備も目標比7.5%増、昨年対比6.4%増となりました。

84期は、都市ガスによる空調設備を新しくするなど、温暖化対策として、よりエネルギー効率が高い設備への移行計画を立て、環境活動へ着手します。

歩留り率の向上については、目標99.5%に対し98.94%と初めて99%を切ることができました。受注数量が小口化する現在、紙素材を大切に活動に取り組めます。

※灯油については、札幌出張所の業務体制変更により数値が変動しています。

✉ 社外・社内への開示

当社の環境・品質に関する取り組みをより理解していただくために、社外・社内では以下のような開示をしております。

社外への開示

Webサイトや会社案内では当社が取り組んでいるISO9001、エコアクション21、FSC認証、植物油インキ使用など環境・品質に関連したもの全てをロゴマークで表示しております。また、詳しい取り組みに関してはサイト内のお知らせページ・SNSにて随時ご紹介しています。

お客様を招いての工場見学では、工場内の視察だけでなく当社が環境や品質においてどのような取り組みや管理をしているかについて、担当者からの説明の時間を設けています。

社内への開示

社内のグループウェアによる日報では、品質・環境事務局よりどのような活動を行っているかについて随時情報を共有しています。また、日報上で他部署の社員同士が質疑応答することも可能で、迅速に対応できるようになっています。

地域社会とのつながり

職業体験の受け入れ

約20年前より子どもたちの職業体験を受け入れており、中学生を対象にした教育プログラムの一環として職業体験を行っています。

83期の受け入れは以下の通りです。

- ・2017年 11月9日～10日 松原市立松原第六中学校（2名）
- ・2018年 5月31日～6月1日 松原市立松原第三中学校（2名）
- ・2018年 2月8日～9日 堺市立八下中学校（2名）
- ・2018年 6月7日～8日 堺市立南八下中学校（2名）

生徒たちは、主に封筒の袋入れ作業や封筒型抜き補助作業を担当しました。このような体験は子どもたちに働く現場の大切さや仕事に関する考え方などを教える良い機会になると、学校関係者の方々より評価をいただいております。



イベント「かるた市」本社／東京で開催

第5回となる紙を楽しむイベント「かるた市」は、堺市本社、ショールーム東京、ウイングド・ウィール表参道の3カ所にて開催。連休中にもかかわらず本社には約700名が来場し、工場見学やワークショップなどにご参加くださいました。

ショールーム東京では、本社工場の紹介と昭和初期の封筒の展示、ウイングド・ウィール表参道では封筒づくりや日本郵便の切手デザイナーによる切手の楽しみ方ワークショップなどを開催。たくさんのお客様をお迎えしました。



市民活動の活性化「さかいNPO協働大賞」選考委員

堺市における市民活動の活性化を目指し創設された「さかいNPO協働大賞」の選考委員を、当社代表の杉浦が務めさせていただきました。これは堺市市民協働課による取り組みで、市民活動団体や企業、大学、行政などが連携・協働しながら、堺市のさらなる活性化を目指しています。

中小企業向け情報誌「さかいIPC PRESS」掲載と関連展示

中小企業の支援拠点、財団法人堺市産業振興センターが発行する情報誌「さかいIPC PRESS」に羽車の商品・サービスをご紹介いただきました。また関連して、同センターに当社商品と企業紹介展示をさせていただきました。



工場敷地内の緑化活動を推進

堺市の条例に従い、本社工場内の18%の緑化を達成しました（堺市条例では15%以上の緑化を推奨）。敷地では季節ごとに、ウメ・サクラ・モモ・キンモクセイ・モクレンなど多くの植物を観賞することができます。社員の憩いの場としても好評です。



お取引先とのつながり

100周年記念誌／記念サイト

創業100周年の機会に、羽車をご紹介する記念誌を発行しました。5冊仕立ての「HAGURUMA 5 mini booklet」は、歴史をまとめた『HISTORY』、商品紹介の『PRODUCT』、工場紹介の『MACHINE』、縁のある方やスタッフによるメッセージ紹介の『PEOPLE』、会社案内の『COMPANY』で構成しました。アートブックのように気軽にご覧いただけるミニ冊子です。また、記念Webサイトには、45名のアーティストによる100周年記念イラストをご紹介。幅広いお客様楽しんでいただけるサイトとなっています。



工場見学「ファクトリーツアー」／ 1日限定 出張ショールーム 開催

本社工場では国内外のお客様向け工場見学「FACTORY TOUR (ファクトリーツアー)」を定期的に行っています。年に1度お客様をご案内する工場見学ツアーは今年で5回目になり、次は11月24日に開催予定です。また、より気軽に参加いただける場として、内容を絞ったライト版の工場見学も実施しました。9月28日に行われたライト版のツアーには、9名のお客様が参加。ツアー後は印刷や加工についての相談会を開催しました。商品やサービスなどについてご意見をいただける、貴重な場となっています。



また、多くの方に商品をご覧いただけるよう、大阪市内にて1日限定の出張ショールームもご案内しています。オンラインストアのほぼすべての商品やサンプルを手にとできる出張ショールームは大変好評のため、お客様との貴重な交流の場として、今後も継続して開催予定です。

セミナー・工場見学会

工場見学とセミナー参加として兵庫県印刷工業組合様がご来社くださいました。

HAGURUMA NIGHTの開催

アパレル関連のお客様をお招きし、ショールーム東京にて交流イベント「HAGURUMA NIGHT」を開催しました。ゲストスピーカーには、国内外で活躍されているイラストレーターをお招きし、イラストをファッション業界で表現する可能性、相手の要望に合わせたイラスト提案についてお話いただきました。その後は、実際に印刷されたサンプルなどをご覧いただきながら、紙製品をブランディングに役立てるアイデアなど、様々な意見交換をさせていただきました。



紙と加工の研究／お客様の制作例

企画部や製造部では、新しい加工技術の研究をすすめています。検討中のサービスを研究するページ「紙と加工の研究」では、お客様にモニターとしてデザインを提供していただき、試作したものをWebサイトにてご案内しています。(2018年9月現在 第18回)

また、お客様の実際のご注文作品を紹介する「お客様の制作例」は月10件以上のペースで更新しています。制作例は、加工を検討中のお客様に大変好評です。(お客様の掲載許可済)



社員ワークライフバランス・ダイバーシティ

社員が持ち合わせるスキルとして「知識・技術」+「人間力」+「センス」が大切だと考えます。これをもとに育成プログラムを実施しています。

✉ 働き方の多様化への対応

能力・スキルを持った社員が、家事や出産育児、介護などの様々な制約がある中で、長く働くことができるような支援、制度構築を行っています。

働き方の選択制度

短時間勤務が選択できる他、通常勤務復帰後も短時間勤務の再取得が可能です。社員のライフスタイルに合わせて約20パターンの勤務体制を実施しています。（2018年9月現在）

現在の育児休業取得者は3名、子育て中の短時間勤務者は4名となりました。更新は毎年3月で、子どもの成長と託児施設などの条件により決める予定です。

✉ 個性や価値観を尊重した職場作りを推進する制度

羽車では、全ての社員にとって長く働きやすい環境づくりを目的とした制度を推進しています。

定年再雇用制度

メーカー企業として、熟練したスキルを持つ社員は大切な存在です。

定年後、継続して雇用を希望する場合は定年再雇用制度を利用することができます。現在、9名の社員がこの制度を利用して働いています。

✉ 外部研修

社員が持ち合わせるスキルとして各部署にて必要なスキル向上を目的とした外部での研修を推奨しています。

研修例：

製造に関する特殊技術の研修(3年連続)、経理システムセミナー、労働安全セミナーなど



✉ 海外研修

83期に予定していたシンガポールでの海外研修は台風のため延期となり、期をまたいで11月に実施しました。12名の参加者のうち、6名は有給休暇を使って自主的に参加する海外研修リピーター制度を活用しています。

研修では、現地の印刷会社、活版工房、オーダーメイド品を扱う店舗を視察しました。規模やスタイルの違う3社ですが、それぞれのこだわりや取り組みなどを知る機会となりました。また多民族国家シンガポールならではの活気のある商業地域、数々の個性豊かな建築物やアートも堪能しました。帰国後、レポート提出・報告会を行う予定です。



✉ クラブ活動

社内では、有志スタッフによるクラブ活動が行われています。

ゴルフ部では、年2回のゴルフコンペにて、日頃の練習の成果を発揮しています。創部5年で10回の大会を開催しましたが、連続優勝者はまだおりません。

ガーデニング部では、定期的な手入れ、花の植え替え(約3ヶ月に1回)に加え、7月に和歌山県の緑化植物園へ観賞に出かけました。ハロウィン用のかぼちゃは想定通りの大きさに育ちましたが、来年に期待しています。

アート部では6月に直島1泊ツアーを開催し、9名が参加しました。家プロジェクト・地中美術館・ベネッセハウスミュージアム・豊島美術館・犬島精錬所美術館などを訪れ、現代アートの生まれた背景を感じ充実した2日間を満喫しました。



✉ 有給休暇と残業について

2017年4月1日～2018年3月31日までの有給休暇取得率は、86.85%でした。84期も夏季・年末年始に有給休暇の計画的付与を実施し、有給休暇取得率90%を達成できるよう、休暇の取りやすい環境を目指します。

83期の残業に関しては、1ヵ月平均19.10時間/人となり、82期より少し増加しました。特定部署の担当者や管理者に負担が集中しないよう、心地よいチームワーク体制を整え、平準化を行います。また84期においては、人事異動や設備投資などにより、残業時間の縮小を目指します。



2018年 年賀状 撮影風景

✉ 社員インタビュー



製造部 第一生産課
新道 啓志 (しんみち けいじ)

私の担当は、四角形に断裁した紙を封筒の形に抜く「エキセン抜き」という工程です。入社して1年半、今のエキセン抜きを担当して半年ほどになりました。

一度に約400枚を抜き、1時間に3~40,000枚の作業をします。1つのサイズが終わると、次に違うサイズを抜くために刃を替えますが、こ

の「型替え作業」を私が主に担当し、抜き作業はシルバー社員の方が担当しています。

毎朝その日の予定表を見て、作業をどう進めるか計画します。機械は3台ありますので、まずひとつに刃をセットし抜き作業をお願いしたら、その間に次の機械に刃をセットします。枚数による作業時間、型替えに必要な時間、それらを計算して段取りを立てています。今日の分が順調に終われば、明日の分も前倒しして作業します。気持ちよく作業が進んだ時はやはり嬉しいです。

気を付けていることは安全な作業です。刃を扱う工程なのでとにかく慎重に確認を重ねます。また、封筒作りの最初の工程は仕上がりにも影響しますので、丁寧な仕事を心がけています。

おもしろいのは、紙によって切る時の音が違うこと。静かに切れる紙、ガガッという音がする紙もあります。紙の滑りやすさも違うので、紙の個性を感じますね。

今挑戦していることは断裁を手伝うこと。断裁工程が忙しい時でも、自分ができれば、より効率的に作業できるからです。少しずつ断裁にも慣れていけたらと思っています。



東京営業部 マネージャー
松澤 徹 (まつざわ とおる)

東京営業部の得意先は、紙の代理店、印刷会社、ビジネスフォーム会社、小売店など多岐に渡ります。私は入社して25年、一貫して営業を担当してきました。

営業の魅力は、何ととっても新たなお客様に出会うことです。ご縁のなかった地域・業種

の方々にも、羽車の看板を背負ってお客様と話してふれあうことができる。封筒の知識も大切ですが、人との関係には根本的なところの人間性が問われるように思います。きっと私は人助けが好きなのでしょう、「この伝票を入れる封筒、どう作ればいい?」と困り顔のお客様に会うと、紙とカッターを借りその場でぴったりの封筒を設計し提案したものです。営業で知り合い、仕事以上のことを話せる方々に恵まれたことは、私の誇りになっています。

羽車の会社としての魅力は、新しいことにチャレンジするところ。常に新しい技術や商品開発に取り組み、新商品を紹介できるのは営業にとって大きな利点です。扱う商品の変化によってお客様も変わりました。これからの新しいお客様と出会う、柔軟性も必要だと感じています。

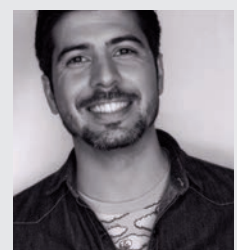
現在、羽車にはWeb通販のお客様も多くなりましたが、営業チームはやはり元気に印象よく自分を伝えることが大切。課員には「声の笑顔をつくれ」と伝えています。そしてこれからの若い世代には、先輩のよいところは吸収しつつ自分の個性で営業スタイルを作って欲しいと思っています。

✉ 契約デザイナー

羽車では、定期的に海外のデザイナーとコラボレーション企画を実施しています。

私は、2016年に東京のショールームのイベントで初めて羽車の商品を目にしました。紙や印刷の品質の高さに大変驚いたことを今でも覚えています。その時、この会社はとて面白い会社だなと感じました。それ以来、羽車でオーダーするようになり、毎回の仕上がりにとっても満足しています。

その後、ご縁があり羽車のチームと仕事をしています。一緒に仕事をして感じることは、全社員が最終の仕上がりまでこだわりをもって仕事を成し遂げること。その商品一つひとつに、仕上がるまでに携わった人たちの「心」がこもっています。デザイナーとして、羽車と仕事をする度に良い刺激を受けています。羽車は印刷や紙製品の会社というよりは、色、素材そして形をベースに、人をつなげるアートを生み出す会社です。



MARU
(MARCELO SOUTO)
ポルトガル出身
デザイナー/イラストレーター

文化的社会貢献

✉ 海外とのつながり

日本の手紙文化について、よりグローバルに価値を生み出すために、私たちは海外とのつながりを大切にしています。

海外デザイナーとのコラボレーション

定期的に海外のデザイナーにご協力いただき、商品開発やサンプル作成を行っております。83期には、ポルトガル、スペイン、フランス、イギリスなどのデザイナーとのコラボレーションが実現しました。



✉ 国内での活動

THE TOKYO ART BOOK FAIR 2017

2017年10月、国内最大級350組が参加したアート本の展示会「THE TOKYO ART BOOK FAIR 2017」に初出展しました。16名のクリエイターと羽車で制作した小冊子(ZINE)の展示販売、羽車の加工サービスなどを紹介。来場者が多い人気のイベントでしたが、国内外を問わずたくさんのお客様にブースにお立ち寄りいただき、羽車の商品やサービスの価値をご紹介するよい機会となりました。



グランフロント大阪 Open MUJI にて展示

2018年1月23日(火)～1月28日(日)まで、グランフロント大阪 無印良品内 Open MUJIにて「羽車の封筒・印刷工場展」を行いました。写真家の平野愛氏が出会った老舗企業として、羽車の工場や商品などをご紹介させていただきました。また、ワークショップ「型紙を使って作る封筒セット」にも多数の方々にご参加いただきました。



手紙を書こう! Love Snail Mail プロジェクト

7月は文月ということで、手紙の素晴らしさをもっと身近に感じていただきたいという気持ちから始めた活動です。期間中には、限定デザインのレターセットを無料にてご紹介し、ご応募いただいた166名のお客様に送付させていただきました。

また、本社では羽車郵便というサービスがあり、社員は毎月3通まで切手を貼らずに羽車ポストに手紙を投函することができます。



カルタビアンカ うさぎの会

東京、大阪にて紙や印刷、デザインに携わる仕事をされている方々をお誘いして、紙にまつわる勉強会を定期的に行っています。勉強会だけでなく、共通の趣味を通じての交流を目的にしており、会員同士のつながりや紙の魅力を再確認する機会を提供しています。会員は約365名(2018年10月現在)になりました。うさぎの会(大阪)では、3月に活版印刷の小箱作りワークショップを開催。活版工房にて手動の印刷機(テキン)を体験し、交流を深めました。



チャリティーピンキーリング

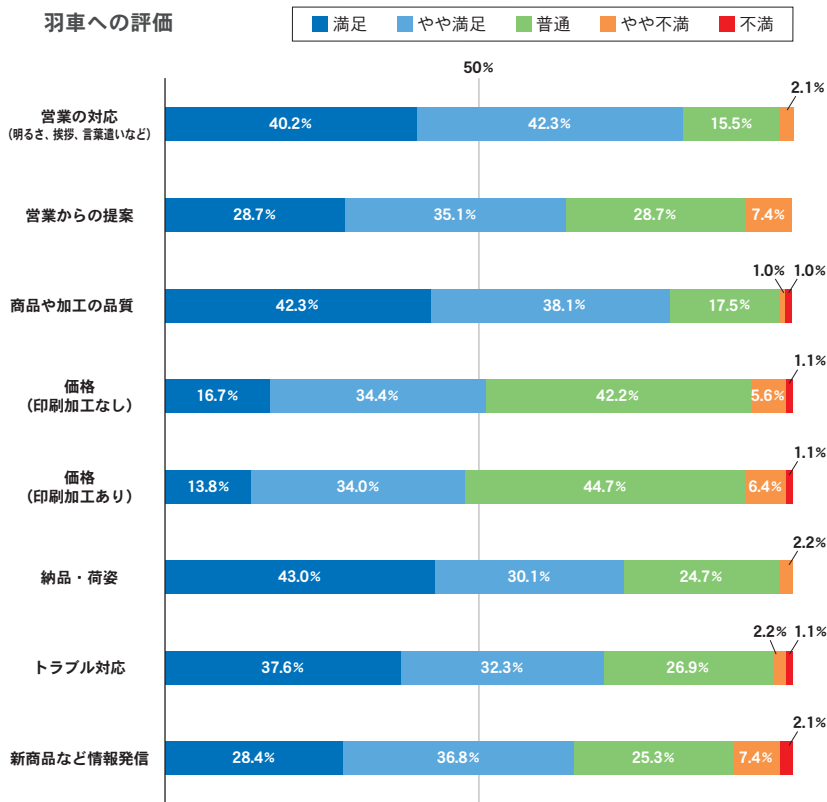
国際協力NGO 公益財団法人 ジョイセフでの取り組み「チャリティーピンキーリング」用カードを作製・協賛しています。



顧客満足度調査

アンケート

日頃当社をご利用いただいているお客様を対象に、サービス・品質向上を目的としたアンケートを定期的実施しております。今期は95件のご回答をいただきました。結果は以下の通りです。



◆アンケート結果について

今回は昨年同様、当社の対応について5段階の評価をお願いしました。

「営業の対応」「営業からの提案」「情報発信」の3項目について、やや満足～満足の合計が昨年より高評価をいただきました。特に昨年の課題「情報発信」については、やや満足～満足を20%近く上がり、やや不満～不満は12%下がりました。引き続きお客様の声を聞き、ご提案できる営業活動を目指してまいります。

一方で、「納品・荷姿」「トラブル対応」「印刷加工あり価格」について、やや満足～満足を4～6%下がる結果となりました。また具体的に「ビジネス封筒のラインを増やしてほしい」「短納期に対応してほしい」などのご要望もいただきました。今後は、お客様の手元にお届けするまで、さらに丁寧な対応を努めてまいります。

編集後記

この度は、私たち羽車の活動報告書をお読みいただき、誠にありがとうございました。

83期は、交流イベント「かるた市」に加え、より専門性の高いイベント「HAGURUMA NIGHT」や「1日限定ショールーム」など新たなイベントも開催し、お客様とのつながりを深めることができました。

羽車は今年、創業100周年を迎えました。7月より100周年記念サイトにて、羽車の企業姿勢や歴史をご紹介します。長く支えてくださった方々のメッセージや、ご縁のあるイラストレーターの方々による「100周年お祝いイラスト」を公開しました。イラスト作品はどれも個性的で愛情にあふれています。その方が作りたいオリジナリティの高い印刷物を作るという私たちの理念に通じるものを感じます。皆さまに広く楽しんでいただけたら幸いです。

今後とも株式会社 羽車は社員一同、地域社会に貢献し、持続可能な環境への配慮をしつつ、お客様とともに良いものを作るべく邁進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本報告書作成にあたり、たくさんの方々にご協力をいただきました。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。

株式会社 羽車 企画広報部 柳 朋美

お問い合わせ先

株式会社 羽車 企画広報部

TEL 03-6432-9880 FAX 03-6432-9878 E-mail pr@haguruma.co.jp